

～もっと知ろう・関川のこと～ 大手町小学校4年生が関川について学びました！

● 実施概要

- 日 時：令和元年7月2日（火） 5限 13:45～14:30
- 場 所：大手町小学校 集会室
- 参 加 者：上越市立大手町小学校4年生1組・2組 58名
- 内 容：●スライド学習 ～もっと知ろう・関川のこと～
- ①川の基礎知識（川のことば、日本の川の特徴）
 - ②関川のなりたち・概要（昔の関川、名前の由来、深さや水の量）
 - ③関川の水害と水害対策（過去の水害、水害を防ぐための河川整備）
 - ④関川の生きもの（生息する生物種、増加する外来種の紹介）
 - ⑤関川を環境を維持するために（下水処理について）
- 質問タイム
- 関川に生息する生き物と過去の水害についてのパネル展示

● 出前講座の様子

〈①川の基礎知識〉



関川について学ぶ前に、基礎知識として「川のことば」を学習しました。また、日本と外国の川ではどこが違うのかも学びました。

〈②川のなりたち・概要〉



約5000年前の関川や関川の名前の由来を学びました。また、関川の水深や流れる水の量も学びました。

〈③関川の水害と水害対策〉



関川では洪水が過去に何度も起きています。7.11水害をはじめとした関川の水害について、そして洪水を防ぐために高田河川国道事務所の行っている河川整備を学びました。



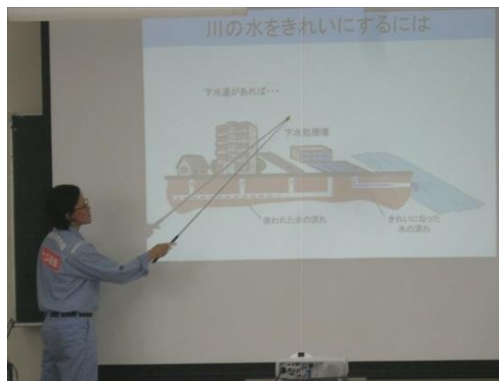
● 出前講座の様子

〈④関川の生きもの〉



関川に生息する生きものと、その種類について学びました。また、関川に生息する生き物を脅かす外来種についても学びました。

〈⑤関川の環境を維持するために〉



生活排水はそのまま関川に流れているわけではありません。下水処理場を通してきれいにしてから関川へ流されていることを学びました。

〈質問タイム・関川の生きものや水害に関するパネル展示〉



生徒さんは講座を通して疑問に思ったことを講師に質問していました。講師は生徒の質問に対して、丁寧に回答していました。



講座では説明しきれない内容をパネル展示で紹介しました。生徒さんたちは興味深そうにパネルを見ていました。

《生徒さんからの質問・感想》

Q1 関川に海の魚がいるのはなぜですか？

A1 関川は河口を通して海とつながっています。河口付近では海水と混ざるため、海の魚もすめる環境となっています。

Q2 関川で外来魚を駆除する活動などはしていますか？

A2 外来魚の駆除を目的とした活動はしていません。しかし、外来種を見つけた場合は駆除しています。（川に戻りたり、持ち帰ったりしません）

Q3 川岸で石・砂・泥のたまる場所が異なるのはなぜなのでしょう？

A3 川は曲がりながら流れるため、流れの速い場所と遅い場所があります。流れの速い場所では重い石がたまり、遅い場所では軽い砂がたまります。もっと流れが遅い場所では泥がたまりします。